勝池レポート アジア資産運用アドバイザー 勝池和夫 「急速に進むインドのインフラ」

## \*\*\*\*\*\*\*\*\*

インド進出の大きな阻害要因として、長く指摘されてきたのがインフラの未整備です。今回はその現状を、インド政府財務省の年次文書「経済調査 2021~22」から見てみます。

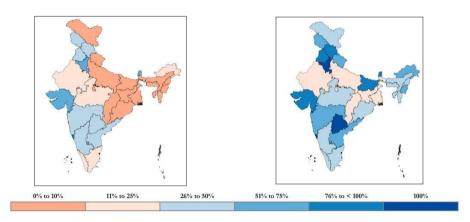
以下は、NASA の衛星が撮影した**インドの夜景**です。2012 年から 2021 年に点灯地域が大幅に広がっています。この画像は、インドの家庭の電化と電力利用が急速に進んでいる証左です。人口分布や経済活動、また主要都市の発展もイメージできますね。



次の地図は、**水道の普及率**を州別に色分けして示しています。インド政府が 水道整備事業を始めた 2019 年 8 月、インドの農村部では世帯の 17%にしか水 道は普及していませんでした。それが 2023 年 1 月には 57%まで普及しました。 また、ゴア、グジャラート、テランガナなど 7 つの州・連邦直轄領では、全世 帯で水道が利用可能になっています。

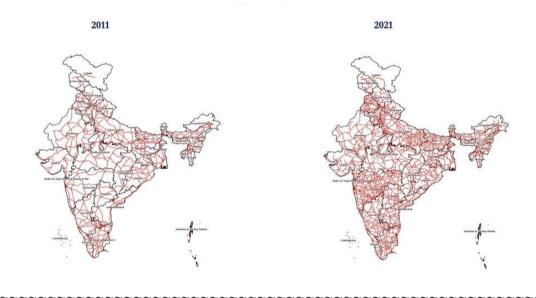
2019年8月

2023年1月

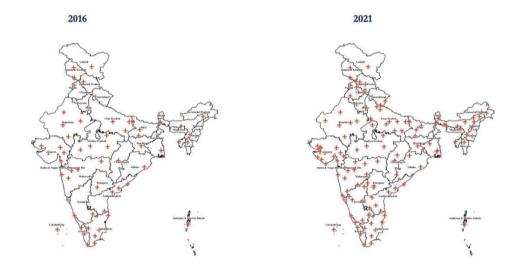


では、交通インフラはどうでしょうか?

下の地図は、**ハイウエイ・ネットワーク**の構築状況です。2011 年 8 月時点では、インドのハイウエイの総延長は 71,772 キロでした。それが、右図の 2021 年 8 月には 140,152 キロまで延びています。



最後は、使用可能な**空港の分布**です。インドには、2016 年 11 月時点で 62 か 所の空港がありました。その数は 2021 年 12 月に 130 か所まで増えています。 そして、これから  $4\sim5$  年の間に新たに 80 か所が建設される予定です。



このようにインドのインフラ整備は急速に進展しています。インド政府は、 今後更にインフラ整備に力を入れます。それにより、今まで出遅れていた、都 市化と製造業の発展が誘発され、インドの経済発展はより力強く、そして持続 的なものになりそうです。